

## 2022 年度

## 授業概要

科目名	日常生活活動学演習Ⅱ			授業の種類	演習	講師名
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	担当学年 時期
						2 後期
<b>【授業の目的・ねらい】</b> 疾患別の日常生活活動の評価方法や指導方法を学び、それらを身につける 臨床実習に生かす MTDLPの基礎を学ぶ						
<b>【実務者経験】</b> 作業療法士として順心会幸生病院、介護老人保健施設白寿苑・夢前白寿苑にて、身体障害領域・老年期領域のリハビリテーションに従事経験。						
<b>【授業全体の内容の概要】</b> 疾患別の日常生活活動の特徴や方法について演習を通して学ぶ						
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> 脳血管疾患の対象者の日常生活活動の基本的な方法を指導できる（基本動作、排泄動作、更衣動作等） 頸髄損傷の対象者の日常生活活動の基本的な方法を自分でできる						
回数	講義内容					準備物(教材)
1	オリエンテーション 脳卒中片麻痺（疾患・機能障害の概要）					配布プリント
2	脳卒中片麻痺（起居動作）					配布プリント
3	脳卒中片麻痺（移乗動作）					配布プリント
4	脳卒中片麻痺（移動動作）					配布プリント
5	脳卒中片麻痺（更衣動作・排泄動作・食事動作）					配布プリント
6	脳卒中片麻痺（入浴・コミュニケーション・IADL）					配布プリント
7	頸髄損傷（疾患・機能障害の概要）					配布プリント
8	頸髄損傷（基本動作：起居・移乗・移動）					配布プリント
9	頸髄損傷（食事・排泄・更衣）					配布プリント
10	頸髄損傷（整容・入浴・環境制御装置他）					配布プリント
11	パーキンソン病					配布プリント
12	関節リウマチ					配布プリント
13	神経筋疾患					配布プリント
14	呼吸器疾患					配布プリント
15	その他の疾患とまとめ					配布プリント
定期試験						
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> PT・OTビジュアルテキストADL 柴喜崇・下田信明編 羊土社						
<b>【準備学習・時間外学習】</b> 学んだ内容を定着させるため、復習を毎回行う。 実技に関しては、身につけることができるまで、練習を行う。						
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価及び小テストを50点、定期試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。						